

乳幼児の眠りを優しく包むベビー寝具。 受託生産を柱に自社ブランドの構築に挑む。

高島ちぢみを使ったベビー寝具が「ココロール」に選定される

オーガニックコットンのしなやかな肌ざわり、飽きのこないシックな色づかいが人気の「Copain」と「Soléi」。米国人作家の人気絵本のカラフルな世界を再現した「はらぺこあおむし」。布団カバーでは難しかった淡いパステルカラーの彩りが美しい「VOYAGE」。自社のオリジナルデザインで森の動物たちを散りばめた「ともだち」。

株式会社ニシザキがオリジナル商品として打ち出すベビー寝具は、現在8ブランド。若い家族のインテリアにマッチし、さまざまな嗜好を持つお母さんから選ばれることを考えて、多彩なテイストの複数ブランドを展開しているが、優しく赤ちゃんの眠りをそっと包み込む持ち味は共通している。



重量やサイズなどをもとに中綿を生産する製綿工程

ベビー寝具への絞り込みが 大手からの受託生産につながる

がこの分野へ徐々に特化するようになってきたのは2005年頃から。それまでは大手寝具メーカーからの寝具の受託加工と寝具類のリースを事業の柱に据えていた。「リース事業が勢いを失った1990年代後半からは受託加工に力を注いでいたが、経営体質を強めるために自立の道を探ってきた。そんな折りに、海外の素材メーカーが『ダクロン』という魅力的な中綿素材を発売。そのポテンシャル（潜在力）を生かすためにベビー寝具市場に着眼した」。

ベビー寝具の市場は新規参入しにくい。一般寝具のように冬忙しく夏は暇というシーズン性がないため、年間を通

近江の伝統素材・高島ちぢみを使った新ブランド「Coccone」では、独特なシボ（しわ）を使って赤ちゃんのためにふんわりと柔らかな布団を開発。サラッとした肌ざわりと吸水性を巧みに生かして、汗かきの赤ちゃんにとって最適な寝具に仕上げた。さらに琵琶湖と県花しゃくなげ、草を連想させるブルー、ピンク、ベージュのトリコロール（3色）ボーダーをあしらって、「湖国+眠り」のネーミングとともに湖国のイメージを強調。滋賀の地域資源を有効に活用したことが評価され、滋賀のとっておきの商品やサービスを集めた「ココロール マザーレイク・セレクション2014」にも選ばれた。

洗濯機で洗える敷布団 新しい機能にもチャレンジ

デザイン性と企画力だけがニシザキのベビー寝具ではない。「当社が開発した

じて安定生産を見込める点が魅力だったという。西崎社長はダクロンの特性を生かして、それまで不可能と思われていた「家庭用洗濯機で丸洗いできる敷布団（2008年特許取得）」を開発。いつも清潔に保てることをアピールポイントに、ベビー寝具「サラゼーション」を95年に発売した。

当初はそう売れなかったが、サラゼーションに注ぐニシザキのものづくりに業界の関心が集まり、また、ISO9001認証取得に伴い、ベビー用品や保育用品を総合的に扱う複数の大手企業から寝具製造を任せられるようになった。「現在、ベビー寝具の受託生産は当社の経営を支えるまでに育った。生産量はそう大きくない市場だが、良質な素材にこだわりの、丹念に仕上げる寝具製造業者として確かなポジションを獲得できたと思う」

4年ほど前からは、自社ブランドの育成に本腰を入れ始めた。受託生産事業

「二枚式敷布団」は、敷布団が二枚構成になっていることから家庭用洗濯機で丸洗いができる。さらに、さらっとした肌ざわりのメッシュ素材と保温性の高いフリース素材を組み合わせたことで、夏用と冬用を一つの敷布団で兼用できるところも画期的だと思う。これらのアイデアでキッズデザイン賞（特定非営利活動法人キッズデザイン協議会が主催）や実用新案も取得している」。西崎英治社長はそう胸を張る。



赤ちゃんに優しい風合いに、ベビー布団をマシンでキルティング加工

は順調だが、将来を見据えると次の柱が必要と考えたからだろう。そのためにテキスタイルデザイナーを採用して彦根オフィスを開設。現在、個性豊かなブランドを展開している。

目指すは滋賀の認知度アップと 伝統産業の復興

14年11月に「Coccone」での経験を生かした新ブランドを発表した。高島ちぢみと湖東の麻織物を使った巾着や手拭い、ハンカチといったお洒落な生活雑貨。梅花藻、琵琶湖の水鳥、近江妙蓮など滋賀の風物柄で彩った「1/6 fabric」だ。「暮らしに、琵琶湖の心地よさを」をコンセプトにし、デザイン、生地、織り、プリント加工、縫製加工、検品に至る全ての工程を県内で完結させることにこだわっている。目指すのは、滋賀の認知度アップと伝統産業の復興。初めて発表した展示会での反響は予想以上で、今後の販売に期待が高まる。小売事業者等・ふ



滋賀の伝統産業の復興を目指して開発された「1/6 fabric」の生活雑貨

るさと名物開発等支援事業事務局が運営する「ふるさと名物応援事業」の補助金を使ったプロジェクトで、全国のインテリアショップでの取り扱いを推進するとともに、県内を訪れる観光客に広めることで「滋賀の新しい土産物」に育てようと、地域の活性化に力が入る。

Profile

株式会社ニシザキ

- 本社/滋賀県犬上郡多賀町土田480
- 設立/1962年
- 資本金/1,000万円
- 従業員数/24名(パート含む)
- 事業内容/寝具等の製造・委託加工・販売及び寝具類のリース・レンタル・リネンサプライ

<http://www.e-sleep.co.jp/>



代表取締役
西崎 英治氏

Voice

少子化の中でも、良質なベビー寝具を作り続けられれば必ず道は開けると考えています。
良い素材と丁寧な製法で安心・安全、快適な寝具を作り赤ちゃんの健やかな眠りを優しく包み込みます。